

會名

一、ヤウナヤリ方ヲ始メテ居
 ルニ、ソレカ爲ニ非常ニ
 混亂ヲ起シテ居ルト云フ
 案情ニアツト聞ケテ居リ
 又、又配給ハ日本ノ支

會名

考慮ニテ行キタノト思
 又ス
 ○岸井委員 上海
 最近米ト日用品ハ配
 給制度ニテ、日本

會名

一、ヤウナヤリ方ヲ始メテ居
 レバ、ソレガ為ニ非常
 混亂ヲ起シテ居ルトナリ
 案情ニアツト聞イテ居リ
 ます、又配給ハ自來人ト交

會名

考慮ニテ行キテ今ト思
 ます
 ○岸井委員 上海
 最近米ト日用品ハ配
 給制度ニテ、日本

3 非常之激之ヲテ、警戒ヲ
シテ之、其ノ警戒線ヲ突破シ
テトシテ、隊ヲ組ニシヤル
トシテヤウチ部ヲ、非常ノ
混亂状態ニ陥リ居ルニ

速記擔任者

即人トハ達ス、サウシテ
2 對シテ支那政府以助力
ハトシテ、抗議ヲ食ス、ソ
レカク一面閣ノ取引トシテ
之ノ如ク支那人ノヲトテスカ

速記擔任者

介ヲスレトモ、当局ハサウ
 247 更ノ一ニ對シテ確信ヲ
 持ツテ居ルベシカ
 山本(熊)政府委員 新
 政策其ノ他ニ於テ重要ナ

トシ新聞イテ居ルノカ
 是ナレバモウ少シ考ヘン必要
 加アル物ヤチイカ、又此ノ配
 給制度ヲ始メテ、ソレカウ
 マク新クヤウニハ僕ハ思ハフ

38日

全力ヲ事々之ニ善ク致
シテ居リテ、私ハ最近
之ヲ因滑ニ解決シテ行
ク方針ノ見込カ任イテト
テフテト申上知テ置キ

連記責任者

37日

置イテ居リテ、
ハ民生ノ安定トテテ所
アリマス、ソレヲ今御指摘
ニテ、食糧問題等
ニテ、最初

連記責任者

北支ノ地位ノ將來ハ如何
ノ風ニ御考ヘテテ
スル。殊ニ蒙疆ハ如何
老身持テ行クカ業リ
ト思ヒマス

筆記責任者

タイト思ヒマス
○中西委員 先程ニ御
説明アリマシタカ、ハ
リマシテヤウニ思ヒ
マス。蒙疆ト
モウ一度伺ヒマス。

筆記責任者

思多居之矣、其ノ其ハ具
体的ニ色ハ考慮致シテ居
リテ、但ニ蒙疆、北支ノ政
治的地位ハ、是ハ結局中
央ニ對スル關係ニ決シ決マ

速記擔任者

○山本(熊)政府委員 蒙

疆ト北支ニハ、蒙表ニ說明致
シテ、其ノ如何ク經濟的其ノ
他ニ休キマシテハ、又内少ニ
調整ヲ加ヘテ、何キテハ

速記擔任者

ヤウチ辭書ニアリニシタ
ノヲ、其ノ占ムヲ先ハ中央
ノ政治力ヲ更ハト深ク涉
透サシテ行クト云フ所ニ
テ考ヘテ居リテ

⑤

此問題アリテ、是ハ
中央ノ政治力ハ特殊地
域ニ對シテニテ、從來
條約上ノ解新通りニテ
行ハシテ居テトキフ

速記擔任者

2

政治力の確立を以て其の中心を以て
 其の中を以て包含して行くと云ふ
 作の形を以てん力つしる毛刺珠地
 位を認めざるに立つ建前刊傳
 府に二十の力、ソレを強化

速記擔任者

三ノ十ノ分

會名

長文

第 12 號

手稿

速記擔任者

ナリ

思ヒマヌ

○中西委員

蒙疆ノ政

治的ノ地位ノ將來ヲト

ウレヨウト云フ御考ハ

カ、中國ノ汪政權ノ

速記擔任者

姓名

職名

速記擔任者

対日関係は重大な影響を

与へてあり、今、所

高度の自治的性質を帯

びて居る蒙疆は、

是れより更に弱く、

速記擔任者

姓名

職名

速記擔任者

スル方向は御進三ニ

カ

○山本(熊)政府委員 蒙疆

ノ將來ヲトウスルカト云フニ

ハ直々ニ蒙疆政府自作ノ

速記擔任者

會名

第 二 號

速記擔任者

一單位にして、無理ヲ
 又ルト云クヤリナキトハ止メテ、
 漸次北支ト一体トナシテ
 經濟体系ニ於テ進メテ
 行フテ方カ蒙疆自治政

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

氣令ハ政治的ニハ持ツテ
 若リマセ又、唯先程申シ
 二シテ如ク、經濟關係ニ
 於テハ北支ト一關係ヲ從
 末ノ如ク切離シテ經濟

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

5

○木村(武)委員

何

彼等と秘密の事ト云ハ先ト

東京ノ問題ハ正ト正ト正ト

正直ト云フトカ一切ヲ解決

スルベシト云フ何モ彼等秘密

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

7

村野達ノ上ニ於テ宜ク

ト考ヘマス

速記擔任者

10頁

報章に對支團集、ヤリ才
 か、更、事、夕、刊、之、加、前、
 觀念が、作、夕、地、支、那、南
 登、會、社、中、支、振、興、會、社、
 此、中、の、敵、意、が、有、る、支、那

ト、ま、フ、ア、ト、ハ、止、メ、テ、欲、シ、イ、ト、思、ヒ、テ、又

○ 十、二、日、の、事、員

敵、意、の、処、理

生産力、増、強、生、産、増、強

二、用、う、ん、多、外、の、中、の、保、留

シ、美、後、ハ、返、ス、ト、云、フ、風、ニ

台名

第 一 號

速記擔任者

十子トニナリハシナキナトト思フノ
 子トハ 十子トニナリト思フノ
 補助金ナトノ 審理ヲモト
 言ワタシカ 根本 何ニ合テソ
 立直ニテ行 方ナケシハ 又ト

速記擔任者

台名

第 二 號

速記擔任者

人ノモリコトナカ 調子好ク
 始末ヲ 付ケテヨクハ かつん
 中 支振 興ニモ 直ニテ 出
 直ニテ 行 方ナケシハ 又ト

速記擔任者

14

○山本(熊)政府委員 敬
 之件ト申上之ニハ 奉答ハ
 對之件ノ事トシ 言ハラセヨ
 又、先旧ノ是ノ慶ノ事ニ屬シテ
 之ハ人ノ度ニ其ノ敵ニ在ルニト

13

一、之件トニテハ 之ノ事ハ
 之ノ事トシテ 之ノ事トシテ
 政令ハ 之ノ事トシテ 之ノ事トシテ
 之ノ事トシテ 之ノ事トシテ

16頁

行キタイト思ヒマス、敵艦ト
 言フ意解知ナク、出陣ニ列ケ
 向フニ協力シテ宣クシテヤラシ
 ト考ヘテ片リ、實ハ石山次
 其ノ他、會社ニ付キヤラシ

速記擔任者

15頁

言中ニハ、會々シク片リナイハ
 此史聞登、其ノ他ノ關係ヲ
 支那人之屬スルモノハ、今度ノ
 新政策ニ合致スルヤウニ
 子會社其ノ他ニ、調整スル

速記擔任者

18

其作安民 民心精神伴興

其作安民 民心精神伴興

多一多之、リシ多之、一休

崇禎ニ於テ

將來此水古民族ヲトシテ

國ニ于テカ、其水疆ニ於テ

速記擔任者

17

其作的 近ノ實現スル所ナ

一 張加進シテ其ノ交

○ 其作安民 (正) 委員

私 締

其作安民 民心精神伴興

其作安民 民心精神伴興

速記擔任者

20

之ニ付テハ主トシテ其力ニ
 依ツテヤツテ居リマシタ
 之ヲ支那側ノ責任ニ歸
 シマシリ——
 兼西支大ハ
 民心ヲ握ムトシテ政策ヲ

19

漢民族ノ之他トシテヤソカ
 簡單ニ伺ヒタイ
 〇少未(一)政府委員
 字確立ノ具体案ト申
 シマスレバ、從來治安ノ確

會名

22

ルカケ一般ノ人間ノ活動
 ヲ其ノ創意ト責任トテ
 ヤル、日本側ハ向テ側カ
 出来ナク所ヲ接シテヤル
~~...~~ 民衆ニ対

速記擔任者

會名

21

各地ヲヤル、是ハ其程度
 トノ競争ニ於テ之絶対ニ
 必要デアリ、諸ノ其ノ上
 地ノ民生が安定シテ日本
 ニ隨フテ来んヤラニ出来

速記擔任者

政府自体ノ力ニ於テ主ト
シテヤラセム、諸ノ権力ハ
方ハ向スニ任セテ、コソチハ
民心ヲ把握スル諸般ノ
施策ニ於テ流ニテ維持

スル施策ノ上ニ於テ向テ
側ガ安定スルマデテ方策ニ
重兵ヲ置クテヤツテ行ク、
サレテ武力其ノ他ヲ
使フコトハ支那側國民

會名

第 一 號

連記擔任者

26

カシテ彼等カソシニ依ツテ
 利益ヲ得ルマシテコトヲ
 進カテ行クノ元一ツノ業
 テアリマス、而シテ此ニ力
 ニ依ルンカハ支那一国民政

連記擔任者

會名

第 一 號

連記擔任者

25

シテ行ク、例ハハ工場ヲ
 興シテソノコニ力働者ヲ
 餘計ハレテ安ん定サセル
 トモフコト元一ツノ業テス、
 ソレカラ物資ヲ江山拵へ

連記擔任者

27

會名

第

號

速記擔任者

府自練ノ方デアリマス、
 コツチハ民心ヲ捆ムト云フ
 フト云フヲ流妄ノ

東京府立第一高等女子学校

速記部

キマレテハ、敵産ノ内題テモ
 觸レシタル如ク、支那治具
 源テモ是非把握シテ四道力
 ナケシバナラヌモノハ依然トシテ
 日本側自体ノ經營ニ依ツテ、

治安ノ確立ヲシタイト思フ、
 少シ抽象的テも不満力モ知
 レマセ又ガ、此ノ位テ我慢又ヲ
 シテ、異キタイト思ヒマス
 ソシカウ生産抵抗ノ方ニ付

云フ方面ニ実の情ヲサセヨウ、斯
 う云フ者ハヲ持ツテ告リマス、
 例) 巴物賣場ノ買付子サニ於
 キマレテモ、徒まハ仲スレモ
 適正値段ヲサク、一ツノ物ヲ

連記擔任者

現地ニ於ケル生産並ニ日本内
 地ニ於ケル生産ニ実の情ヲサセル
 ト云フ方法ヲ執リテ告リマスガ、
 一般ニ於テハ支那人ニ任セル
 コトニ依リテ生産ノ振立ト

連記擔任者

ノコツキニ協カスル体形、及ヒ
 将来ニ対スル光明ヲ持ツセル、
 甘ウ云フコトカラ生ニ産抗亮ニ
 持ツテ来ヨウト云フノが一ツノ
 狙ヒ所ヲアリマス

連記擔任者

兼記担任者

買フノニ時價ヨリモ低ク買
 フ、棉花ニシロ塩ニシロサウ
 テス、斯ウ云フモノハ出来ルガ
 ケ時價ニ依ツテ買フテヤルト
 云フヤウナコトニ依ツテ、向フ側

連記擔任者

兼記担任者

會名

第 號

速記擔任者

8

テ、^{経済}経済方面ニ於テモ 自己ノ
 創意ト作意ニ依ツテ動キ
 得ル、^{経済}経済活動ノ範圍モ廣
 クナル、^{更ニ}更ニ動モスレバ 日本ガ
 獨占シテ居ツクノヤウナモノモ

衆議院速記録

會名

第 號

速記擔任者

7

ソシカラ 民心ノ作興ト云フコト
 ハ、^希希存ジノヤウニ 今度又ノ協
 定其ノ他ニモアリマスルガ、^出出
 来ルガケ 向フノ 独立ヲ 尊重シ
 テヤリ、^希希望ヲ 達成シテヤツ

衆議院速記録

10

非常ニ不安ヲ持ツテ居ワク
点ヲ今度ノ政策ニ依ツテハ
キリサシテ、日本ハ支那ニ対
シテ是ルカノコトヲ要求シテ
居ルノ如クト云フコトガ明瞭ニ

速記担任者

速記担任者

9

出まゐルカケ 解除シテ向フカ
協力し得ルヤウナ 体形ヲ作
ワシヤル、 詰リ日本ノ支那
ニ対スル 要求限度ハ 何處
マテカト云フコトニ付テ 従来

速記担任者

速記担任者

12

テ、ソシガ生キテ活動スルト云
フ所ニ主眼ヲ置イテ、サウ
云フ部面カラ民心ヲ作興サ
シテ日本ニ強力ニ協力スル
ト云フ体形ヲ作リテ行クト

東洋院通記

11

ナル、斯ウ云フコトニ依リテ
一方ニ於テハ民心が安定シ、
民生が安定スル、将来ニ付
テハ漸次光明ヲ持ツテ来ル
吾々ノ支那ト云フモノが出来

東洋院通記

七が初メカラアリマスノテ、政
 治的ニ見マスレバ、蒙古民族
 ヲ主体トスルト云フ所ニ至
 リハアリマセ又、唯アスコハ
 亦なジノ如ク、漢民族ノ協力

大正十一年

速記擔任者

云フノが、但ヒ所シアリマス
 ンシカラ、蒙古疆ノ内題ニ付テ
 ハ、打解ケテ申セバ、蒙古疆ハ
 蒙古民族ノ希望主ハ、蒙古人
 ノ、蒙古ヲ振クルト云フ所ニ、但

速記擔任者

大正十一年

16

蒙古民族ト云フ所ニ道カ
ナルヲ得ナイノシアリマス

○齊王勝(正)未女負ク 我ニ言

ハシムレバ、蒙古ハ大東亞戰

争カ始マル前ナラバ蒙古民

大東亞連記擔任者

15

カナケレバ蒙古トシテノ政財ノ

維持ガ出来ヌト云フ意味カデ

漢民族ノ協カト云フコトヲ

附加ヘタノシアリマス、率直

ニ申しマスレバ、主体ハヤハリ

大東亞連記擔任者

18

居リマスが、
實際ハ恐ラク
五万ト居ナイカラウト、
歩イ
テ見マシタ、
實際カラ見
テ、
漢民族ノ方がウニト
強イノテスカラ、
大東亞戰

筆記擔任者

東洋院通記帳

17

族ノ夢ガ古テ宣
カツタカ知シ
マセヌガ、
實際ニ見マシ
タラ
ハ、
アスコハ漢民族ノ
夢ガ古
テス、
アスコニ居ル
夢ガ古
ト云フモノハ、
百万ト申シテ

筆記擔任者

東洋院通記帳

自名

號

遠記擔任者

ト考ヘテ居ルノテスガ、アシハ
 飽クマテ甚ふ吉トシテ
 押通シナサル情氣持テアリ
 マスカ

遠記擔任者

自名

號

號

遠記擔任者

争が始マツテ以來ハ、今マ
 テノ行掛リハ棄テテ漢民
 族ノ甚ふ吉トシテ御行キナ
 サツト方カ、此ノ大東亞戦争
 完結ノ為ニ良ノテハナイカ

遠記擔任者

台名

第 號

速記擔任者

只今次、官カラ承リマシテ
 非常ニ意ヲ強ウシタノデ
 スカ、併シ日本人カ支那
 奥地カラ支那政府ニ
 関與シテモ若ク者カ殆ク

速記擔任者

台名

第 號

速記擔任者

○山本(能)政府委員、前ニ
 御説明シタ通リデアリマ
 ス、御意見トシテ承ソテ
 置キマス

○齊藤(正)委員、私ハ

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

重役ノ人 厩デアルト思
 フノテアリマス、十セナラバ
 政治ト經濟ハ離スベカ
 ラザル關係ニアリマスガ、

東京商會館

會名

第 號

速記擔任者

引揚ケルト云フコトニナ
 リマシタナラバ、私ハ茲テ
 一番考ヘナケレバナラナイ
 ノハ北支開發、中支振

關ノ所謂國策會社ノ

東京商會館

連記擔任者

言ハシテモ決之テ憚ラナイト
思ヒマス、殆ド東京ニ机ヲ
向ケテ御仕事ヲササツテ
居ル、支那ノ民心ニ氣ヲ配
ワテ居ラシル御方ハ恐ラク

皇朝院書記

連記擔任者

秘密山會デアリマスカラ、
私又^ニ端的ニ言ハシムルナラバ
今ノ所謂國策會社ノ重役
デ支那ノ支ノ字モ御分リ
ニナラテ居ル人ハ私ハナイト

皇朝院書記

考へテスカ、ソコヲハツキリ
承ツテ置キマス

青木 国勢大層 北支 用發

ニ致マシテ元中支 振興ニ致ス

マシテ元、重大ナル 国策ヲ北支

速記擔任者

衆議院速記部

ナイト 私人思ヒマス、政府ハ
今後モヤハリコシト人選ヲ
ヤツテ行ケルト云フ 御考人テ
スカ、ソレトモコユテ 全部考
ハ直ニテ行カウト云フ 御

速記擔任者

衆議院速記部

速記擔任者

云フコトハ御説ノ通りデアリ
 マス、現在ノ重役諸公ニ於
 テモ其ノ真ハ十分ニ認識
 シテ、皆ノ期待ニ副フヤウ
 ニ努カサレルモノト私モ期待

速記擔任者

速記擔任者

負ウテ其ノ任務ヲ分擔シテ
 居ルノデアリマスカラ、国ヨリ
 支那ヲ知り、現地ヲ能ク認
 識シタ上ニ適切ナ施策ヲ
 行フテ行カクテハナラヌト

速記擔任者

の齋藤(正)委員、大臣ハ認
 識モテ居ルト仰之ヤイマス
 が、ソシテ御名前ヲ其
 ケテ聽カシテ下スウテモ結
 構デスガ、アノ重役ノ御方

速記担任者

之ヲ居リマス、若シ是ヲ
 ル所ガアシバ政府ニ於テモ
 十分鞭撻シテ所期ノ效果
 ヲ其手ケルヤウニ之ヲイト考
 ヘテ居リマス

速記担任者

速記担任者

會名

第 一 號

速記擔任者

キリ言フテ下サイ、誰ト誰
が支那ノ事ハ詳ニイノ力

○福家委員

委員長議

事進 行ニ付テ、此ノ

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

ノ中デ支那語ノ満足ニ就

セル方ハアリトシマセ又、言

葉が通ゼズニ日支親善

ナニカ出ルモノデハナケト

思ヒマス、ドウカソコヲハツ

速記擔任者

カト云フモノヲ非當中ニモ眞劍
 ニ考ヘテ居ルノデス。政府
 當局モ此ノ吾々ノ熱意ノ
 アル所ヲ十分了解之ニナ
 リマシテ、誠意ヲ披瀝シ

年女員會ヲ見渡スニ、大陸
 關係ノ一應ノ權威者カ揃
 ワテ居ルト思フ、ソコテ吾々
 モ今日ノ大陸問題ノ解決
 ニ付テ、大東亞省ノ管轄

會名

日

速記擔任者

テノ話ヲ之テ戴キタイ、
 畢テハ亦明ニ終ルヤウナ
 ニトデアレバ五々々ハ相當
 考慮之マスナラフ、委員長
 ハ此ノ旨十人ノ政府ニ傳入シ

衆議院速記部

會名

日

速記擔任者

之テ戴キタイノデアリキ
 ス
 〇年代本委員長 申上げマス
 が、今御話ノ御趣旨ハ前
 ニ本村委員カヲノ御發言

衆議院速記部

ニ付テ御實疑ヲ願フテ居
 ルノデアリキニシテ、之ニ對スル
 御答年モ固ヨリ今ノ御希
 望ノ通クノ御答年ガアルモ
 一ト期待ヲ致シテ居ルノデ

ガアツテ、其ノ當時委員長
 ノ考ヘモ申述ベテ、政府ニ
 要望ニテ居ワタノデア
 リケス、今日ハ秘密會ニ
 於テ聽カナルシバ十又點

61

會名

第 號

速記擔任者

アリマス、高木中谷君カラ
及發言ヲホメラシテ居リマス
カラ……

○齋藤(正)平女員 私ノ質問
ニ對シテ其ノ名前剛ヲハツキ

衆議院 記録

62

日

速記擔任者

リ言フテ戴ケナイモノデセウ
カ、国策會社ノ重役ノ中
是ハ確ニ支那ヲ認識シ
テ居ルト云フ風ニ……私ハ
認識シテ居ナイト思フ

衆議院 記録

テ居リ々ニ夕ノテ 全部ヲ
 拜聽致シマスデ甚ダ致
 念デゴサイマエ夕ガ、秘密
 會デナケレバ御答亦出来
 ナク點ニ付テ 質問致

64

○手代木委員長 高岡之隣君ノ
 御質疑ハ公開ノ機會ニ讓ル
 コトニ致シマス、中谷君
 ○中谷委員長 私人今日
 市所村制ノ委員長會ニ出

67

政府関係ニ於カシテハヨク
 新政策ニ若クハ政策ノ
 轉換ト云フ意味ノコトヲ
 言ハレルゲアリマスガ、私共
 カラ解釋致シマスト 治外

之マス、尚ホリシニ
 関係スル
 質向ハ後日ニ讓リマス、
 質向ハ三吳デアリマスガ、
 其ノ第一吳ハ 今回ノ国民
 政府ノ参事戰ニ関係シテ、

48

アウテ、何等新夕ニ考慮
 スル所ハ、
 思ヒマスガ、特ニ政策ノ轉
 換乃至ハ新政策ト至クモ
 人ハ何處ニアルカ、ソレヲ伺

速記擔任者

69

法權ノ撤廢モ祖界ノ遺
 付モ、或ハ支那ニ植ケル植
 民地的性格ノ拂拭モ是
 ハ従前カラノ帝中国ノ國是
 ト申スガキ基本方針デ

速記擔任者

49

ヒマス

○青木國勢大佐

漢記擔任者

漢記擔任者

7

會名

第 號

速記擔任者

又

先般條約
 先般條約の審議に致し、
 既定の方針を遂行すべし
 三つに思ひます、併し十加多
 ソレヲ母國に致し、
 斯くやり、方々を
 二スレハ

衆議院速記課

會名

二月十八日
北支 第 14 號

速記擔任者

佐野 俊

○青木國務大臣 轉換ト
 多言葉の良く悪くハ是
 ハ言葉のト多トハ問題カ
 了んカト思ヒマスガ、御示シ
 一通の根本、行々方ハ

衆議院速記課

姓名

第 號

速記擔任者

思フノヲス、唯ソレガ十分理
 解セシテ居テ、又ソレガ
 個々ニ書指ニテ至リ且
 何ノ事實トシテ理ハシ
 場合遺憾ナク其ノ根本

速記擔任者

3 日

姓名

第 號

速記擔任者

新ハ今ニテノヤリ方ノ面目
 ナ改メテ又知ル、個々ノ
 今ニテノ支那問題其ノ
 一、問題カト申シカニハ
 方針其ノ一、ハ新ハ確カト

速記擔任者

會名

第

號

速記擔任者

せんト多ク所ニ新ハ新ニテ政
 策カ^ハせんト思ヒ^テニ^ニ 或ハ轉
 換ト^シテ言葉ヲ^テ方何^レカ
 妻^ト又^ク言ハ^レルト語弊^カカ
 ルト思ヒ^テニ^ニ 新ハ^レニ^ニ

衆議院速記課

會名

第

號

速記擔任者

ノ方針^ト通^シニ行^フニ^ニ 行^フニ^ニ
 事^ト斯^クニ^ニ 事^ト加^フニ^ニ
 事^ト新^クニ^ニ 事^トニ^ニ
 今度^ニ 徹^シ底^ニ 事^ト者^ノ 方
 針^ト通^シ 事^ト稍^ク 事^ト行^フカ

衆議院速記課

八

速記擔任者

○中谷委員 轉換ト云フ

言及不田ト云フトノ不適当

ト云フト御承認ニナラズ

御意ニ結核ト云フト云フ

ト云、新政策ト云ハレシ

速記擔任者

九

速記擔任者

新時局ト云フ新政策カレシ

ト云フ云フ云フ

速記擔任者

命名

第 號

速記擔任者

10日

政策ノ其ノ内容ヲ示ス
 實情ノ事ニ
 於テ新機ヲ感ズトシテ多ク意見
 時ニ新政策トシテ多ク言葉ヲ
 使フト多ク了承致シ
 又、唯釋擧トシテ多ク言葉ハ

速記擔任者

命名

第 號

速記擔任者

9日

場合知元新考ハ中未附ニ
 注シテ了ルカ、
 シテ多ク意見ヲ示シテ多ク
 未指ニテ其基本方針ハ
 極旨ヲ徹底底サシムル事

速記擔任者

會名

第

號

速記擔任者

12月
 證明之書は、檢文継承ノ
 帝國ノ對支政策中ノ侵
 略主義乃至ハ帝國主義
 ナリトシカ如クニ證明スル人
 ナキヲ人ナク知ラシクス

衆議院速記部

會名

第

號

速記擔任者

11月
 證明乃至混同ヲ生ズル上層
 カクフニカク^合御用ヒニナリナ
 ンヤラニ新ハ勸告的ナ
 帝室ヲ申シテ置キマス
 フシカク所謂新政策ノ

衆議院速記部

速記擔任者

吾國ノ對外政策ハ独
 對又政策ト言ハス、
 爲年ノ大理想、國
 三則、年ノ政策中、
 新、年、英、事、
 其、
 他、

速記擔任者

速記擔任者

新の特ニ、
 又、
 政府、
 國、
 政、
 策、
 中、
 年、
 英、
 事、
 其、
 他、

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

10
轉換ニ國體ニ

東京帝國大學

會名

第 號

速記擔任者

11

個人主義、中國主義、

侵略主義、聲ニニ依

テ及ノテハナク、此ノ主義

解シ生ズル虞カケリトス

カテ、新政策乃至ハ政策

東京帝國大學

申上ケマス、其ノ他之ニ閣聯
 スル質問ハ公開ノ委員會
 ニ讓リマス、第二其ハ一切ヲ
 舉ゲテ戰力增強ト云フコトニ
 日本、
 舉國的努力カ集中サレテ

書記擔任者

衆議院書記

帝國政府自ラ 從來執リ来
 ツタガノ政策ヲ 批判シ、若シク
 ハ之ヲ非難スルヤウナ言葉ヲ
 用ヒニナラヌヤウニ、是亦
 重ネテ警告的ナ希望ヲ

書記擔任者

衆議院書記

20日

姓名

所属

速記擔任者

随テ 狭義ノ意味
 内ノ戦力が增强セラルレテ
 三テ之、東亞人他ノ部面
 ニ於テ戦力が弱化ナレ、
 混乱致シタル場合ニハ、

速記擔任者

19日

姓名

所属

速記擔任者

居ルノデアリマスが、私ハ日本
 ノ戦力增强トセザラハ、即東
 亞ノ或ハ「アジア」諸民族全
 体ノ戦力ノ增强デアラウト
 思ヒマス

速記擔任者

姓名

第 號

速記擔任者

實施之當りて、支那に
 帝國が從來保有して
 居りて之を所ノ權益乃
 至ハ大東亞戦争後收メ
 タル旧英米ノ權益、

速記擔任者

姓名

第 號

速記擔任者

大東亞引括メテノ指導者
 トシテノ日本ノ戦力増強
 ニハナラズナクト思フ、ソ
 コテ而伺ヒミタキ、ハハ、
 今回ノ所謂新政策ヲ

速記擔任者

24

會名

第 號

速記擔任者

七 注意ヲ要スルノハ
 混乱ヲ生ズルコトアリ
 又 此ノ點ニ關スル
 當局ノ説明ヲ要ス
 又

速記擔任者

23

會名

第 號

速記擔任者

或ハ治外法權ノ租界等ノ
 還付撤退等ニ際シテ
 混乱ヲ生ズル虞ナキヤ否
 又 即チ此ノ際 戦力
 増強ノ意味ニ於テ最

速記擔任者

政策ヲ決メ之ヲ実行スル
 ニ當リマシテ、相
 當改メテ
 行カサクテハナラ
 又ト云フ
 フトハモウ前提ト
 シテ政
 府ニ認メテ居ルノ
 事アリキス

會名

日 時

速記擔任者

○青木國務大臣
 初メノ
 莫ハ萬箇問
 テハナカフヤウ
 ニ思ヒマスガ、
 一言政府
 ノ態度ヲ申上
 分テ置キ
 タイト思ヒマス、
 今度ノ

衆議院速記

會名

第 一 號

速記擔任者

28日

テ云、又此ノ席ニ於テ云、特ニ
 秘密會ヲ仰願ヒテ申上分
 テ居ルノ云、其ノ配慮ニ外ナ
 リマセ又、秘密會ハテアリマスカ
 ラ、私ハ相当ナル事實ヲ仰

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

27日

然ルガ故ニ此ノ政策が行ハレ
 タノテアリマス、^{然ルニ}之ヲ公然ツク
 ケ撒ケルト云フコトハ仰話ノ通
 リ色々ナ悪イ影響カアリ
 マス、テ豫算委員會ニ於

速記擔任者

戦力増^充強^充ト云フコトが一ツノ
 大キナ狙ヒテアリマスカラ
 ソレヲ阻碍スルト云フコトヲ
 固ヨリ考ヘテ居ル次第デ
 ハアリマセ又、

速記擔任者

東洋院速記部

話スルノが適当ナリト信ジテ
 相当事實ヲ仰託申上ケタ次
 策テアリコス、ソレカラ戦力
 増強ニ政策が打突カウテハ
 イカヌ、是ハ仰託ノ通リ

速記擔任者

東洋院速記部

會名

第 號

速記擔任者

32 日

云フ、カ ツノ 狙ヒテアリマ
 シテ、其ノ ツノ ノ戦力、工場
 ナラニ場ト云フモノナクテ戦力
 ト見テ居ンノテハアリマセヌ、
 天ツト大キク見テ居ルト云フ

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

31 日

併シナカウ今度ノ政策ハ
 廣ク支那ヲ國家トシテモ
 又國民トシテモ、大キク引張
 ヲテ行ク、日本ノ共同戦線
 ニ大キク引張ヲテ行クト

速記擔任者

34 日

之ニ付キマシテモ、之ヲトシ
 云フ範圍ニ於テ向フニ返ス
 カト云フコトニ付キマシテハ先
 程ニ申上ルマシタ通り我が
 方が大東亞戦争ニ完遂上

33 日

コトモ新々知遇キテ願
 ヒタケト思フ事ヤリテモ
 一シカラ敵産ノ処理ト云フ
 コトハ今ノ世話ノ中ニモ具
 体的ニアラズカ、

會名

第 一 號

速記擔任者

36 日

三ノカヲ
 廿ノ云フストノ人
 理ニ依リマシテモ、
 戦力ハ決シテ心配ナク、
 廿ノ云フ確信ヲ持ツテ
 居ルベシ

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

35 日

日本ノ年ヲ持ツテ
 居ルベシ
 シハナラザルモハ持ツテ居ル
 廿ノ云フ見地カヲ
 天ノハ皆支那ニ反ス、
 云フ見地ヲ致シテ居リ

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

38

ニ美文ハルヤウ大騷動ガ
 起ルトコトヤラキトハ
 此ノ時ノセ又、得シ是
 外ノ放棄ヲ実行スル上
 ニ此ガマシテハ一人
 々々ノ

速記擔任者

會名

第 二 號

速記擔任者

37

混動トシテ御請ヒアラス
 ガ、新ハ混動トシテ
 トシテコトシテ意味サレ
 カハ能ク合リマセ又ガ
 申上ケテヤラキ年遠行

速記擔任者

速記擔任者

37
予方々予の戦上は要十八天ノハ
能く予保有るト云々御
趣旨ヲ了ルカ

○青月本國務大臣 敬啟

我が方々予保留するト

速記擔任者

速記擔任者

38
生活に全然影響音がナク
ト云々予ハ望ムハ力ヲサ
スルベシ、斯ク新ハ考
テ居ルカ

○中谷善實 親念ニッテハ

速記擔任者

速記擔任者

持之居り、
 其人多ク、
 吾ノナキ、
 支那ノ還ス、
 斯ラ、
 吾ニ、

本編 終

速記擔任者

國民政府ノ
 移駐長沙ニ
 一、觀念ノ區別ハ、
 左ノ如ク
 亞細ヤ、
 新ト、
 自地
 カ、
 日本カ持ツ
 居ルニ、
 日本カ

本編 終

PP 日

又支那側ニ於テモ觀念論ヲ
以テ日本ニ對シ来々々憾ミ
加非常ニ多イノテアリマス、
袂密會ヲアリマス、カウ率直
ニ申上げマスト、大体ニ於テ

速記擔任者

本講院速記部

43 日

會名

期 日

速記擔任者

○中谷朱世賢 ソレテ大体安心
致云マシタガ 私此ノ際簡單
ニ申上げタイノハ、従来ト
モスレバ支那ニ對スル政策ニ
於テハ觀念論カ流行スル

本講院速記部

66

命ニ淵源ヲ發シテ居ル天賦人
 權論ニ基ク個人主義的自
 由主義的國家學說ヲ信奉
 云テ居ル人カ非吾中ニ多クイ
 是ハ私ノ個人ノ交友ニ於テ

東洋院速記部

65

証主席及モ其ノ周圍ノ人
 及ノ國家觀念或ハ國體觀
 念等ハフランス流ノ個人
 主義ニ立脚スル主權絶對論
 カ多クイ、即チフランス

東洋院速記部

第 一 號

速記擔任者

皆在様テアリマス
是ハ
私ノ忠告ニ道徳

ニ存シテ居ルヲ莫クテアリマス
隨テ中國ノ主權回復ト云フ
重シク、軍ニ英米ニ對ス
ルヨリハ、或ハソレ聯ノ關係

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

マニテモ十分ニ之ヲ知り得
マニテ、隨テ日本ニ對ス
場合ニモ斯ク云フ觀念論、
斯ク云フ理念カラ臨ンテ來ル
場合カ非忠告ニクタイ、
斯ク

速記擔任者

姓名

第 第

速記擔任者

社会文化其ノ他一般ニ互
ワテテ 常ニ斯ク云フ

②

速記擔任者

姓名

第 第

速記擔任者

ニ於テ 共產主義ニ對シマスル
ヨリハ、日中ニ對シテモ 今日ノ

汪主席ノ指導スル 國民政

府スラガ 相当強烈ニ持ツテ

来ルノテアリス、政治、経済及

速記擔任者

願ハテ居ル主権ノ完全回復ト云フ莫毛、或ハ其ノ他支那側ニ返シテ方カ宜イト思ハシル權益毛、一切ヲ投出シテ日本ニ提供スル、日本ノ戰

二月廿八日
北支

15

速記擔任者

趙炳

斯少云フ強ク考ヘ方ヲ持テ居ル、私ハ大東亞戰爭完遂ノ爲ニハ、支那側トシテハ日本ノ戦力増強ノ爲ニハ妥トアレバ、常々自分盡カ

速記擔任者

4
 ケロトモ、租界ヲ返シ、治外
 法權ヲ撤廃スルコトガ若干
 ノ混乱ヲ生ジテ、日本ノ戦
 力増強或ハ大東亞戦争完
 遂ニ多少テモ支障カアルナ
 事

大東亞戦争

3
 争遂行ニ、大東亞戦争ニ勝
 ツルニ必要ナラハ、支那ノ権
 益ニ資源モ思フ存命ニ使フ
 テ莫シ、今租界ヲ返シテ費
 フコトハ年来ノ希望ナリ

遠征責任者

大東亞戦争

姓名

第 一 號

速記擔任者

ハ之ヲ辭退スルト云フ熱意が
 必要ナルデアリマス、誠不幸
 ニシテ私ハ之ヲ見出スニト
 カ出来ナイ、随テ今後斯
 様ナル方向へ國民政府ヲ

衆議院速記員

姓名

第 一 號

速記擔任者

テハ、吾々ハ當分取ルニトテ遠慮
 スル、日本デ之ヲ返スト云フ
 熱意ハ有難イケレドモ、是
 カ爲ニ聊カテモ日本ノ戦力ヲ
 弱化スル虞がアルヲバ、吾々

衆議院速記員

唯觀念的ノ主權ノ回復

ト力、權益ノ回收ト力、サウ

云フコトニ狂奔シテ居ルト

云フ御親測ニ付キマシテハ、

私ハ他スレモサウ云フ風ニハ

速記擔任者

衆議院速記員

内面的ニ指導セラルル意

思ト用意アリヤ否ヤ、率

直ニ即答辯ヲ願ヒマス

○青木國務大臣 汪主席

初メ國民政府ノ當路者カ、

速記擔任者

衆議院速記員

10 日

リマシテ、今日ハ先程御示
 之ノ通り既定ノ方針ヲ行フ
 于各ルニ過キマセヌ、又是
 等ノコトニ依リテ、私ハ日本
 一戦力カ低下スルトハ思ヒ

9 日

見于居リマセヌ、治外法
 權ノ撤廃、租界ノ還付ト云
 フヤウナコトハ、モウ既ニ昭
 和十五年ニ我が國ノ國家下
 之ヲ決メラレテ各ルコトデア

12日

全ク我方方ノ自発的ノ行爲
ヲアルノコトアリマス、彼等
ハ甘ウ云フコトヲ少シモ申
出テ居リマセヌ、何カ故ニ
然ラハ^{之ヲ}實行シタカト申ス

速記擔任者

米國院議記

11日

マセヌ、尙ホ今回参戦ヲ期
トシテ、斯ウ云フ我方方ノ措置
ヲ執ツタト云フコトハ、決
シテ國民政府ノ要求、要
望ニホタモ、其ノアリマセヌ、

速記擔任者

米國院議記

丁未の爲ニ必要少、大東亞
 戦争完遂、大東亞建設ノ
 爲ニ必要少ト云フ、曰者ノ
 國策ノ爲ニヤリテモ、決
 して彼等ノ希望要請ヲヤ

速記擔任者

速記擔任者

マスしハ、先程中谷委員ハ
 オイテニナリマセ又オモクハ、
 和ガ詳細ニ由上ガ夕通リ、
 即チ是ガ國民政府ヲ強クシ、
 長江 民衆ヲ我ガ方ニ引張ル

速記擔任者

速記擔任者

16

而近年自發的帝國主義
 主義之今國、所謂新政
 策之實行、海外法權其
 他之返還スルヲ以テ
 實施スル去フコトモ大體

15

コトモ、予ハアリテモ
 ○中谷委員、時百カカリ
 了多カラ、極ク簡單ニ申上ケル
 所カ、新ハ大臣ノ後段ノ演義
 見ト、全然同感アリ、

會名

第 號

速記擔任者

那側ト協同ニ行ク、或ハ
 支那側ヲ指導スルニ行ク莫
 之於テ、種々令申シテシタ彼
 等ノ「イテイオロキ」ニ觀
 念ノ相違ニ基イテ、多少ノ

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

了承致シテシタ、唯私ガ今
 申上ケルニシタノハ、既ニ決定
 シタル政策ニ付テ免ヤ商言
 フノ事ハナクテ、今後尙ホ大
 東亞戰爭ノ定案ノ爲ニ、支

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

20 日

率直に申し分なくト國民改
 新郷構成に於て人々ノ
 二八種々雜多ト要事カア
 或ハ曾テ其善覺ニ藉ト置
 下文人カアト「レ」

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

19 日

行違ヒカアト思フノ
 了ス

速記擔任者

會名

第 號

連記擔任者

親佛冰若之ハ親「ソ」冰共
 産竟、「レ」レ「レ」團、サ
 之「ソ」人々カ汪主席ヲ繞
 子、惡个言美亦知言人ハ之
 ヲ擔イテ、皇慶カク南条ニ

本國院連記

會名

第 號

連記擔任者

之ハ藉ヲ遣イテ人々中ハ、汪主
 席ヲ繞「ソ」皇慶カク南条ニ
 人々カ、ゆスレモ全部知日
 冰ヲナリ「ソ」トハ申ス「ソ」毛アリ
 了也又、強ハ從來親英米冰

本國院連記

24日

予、彼一人違か眞の親自之轉
 向し、而は多新興東亞ノ前途
 ノ爲ニ協力スルト致シタリ
 元、尙未從來ノ如キ思想上
 若しハ實際ノ立場上ノ引

23日

特勤ニ多事々ノ引
 和ハ此ノ際モウ一步進上
 イ長カアリテカ、要
 アリタリテカ、要
 梅子構成ニテ

26

會名

第 號

速記擔任者

上4つら夕内面指導上十分
 用書り、年掛、女要か介
 儿りさう、希望、止、夕、次
 米形、り、さ、え

周、環、さ、毛、少、一、意、形、り

速記擔任者

25

會名

第 號

速記擔任者

鷲りがア、ん、ト、思、う、ノ、形、り、さ、え、
 使、ス、し、毛、エ、カ、う、カ、う、試、期、ス、ん
 方、向、エ、ハ、呼、調、エ、考、う、又、場
 命、を、考、い、り、さ、う、さ、り、考、え、入、十
 ケ、レ、ハ、考、う、又、一、隨、手、先、程、申

速記擔任者

28 日

締結セタル事考我ら多ク
 リクニ、是ハ陸海軍ノ軍部
 當局ノ所長等がナインノ知分
 リクニ、大軍軍大臣トシ
 于許ス範圍ノ所長等ヲ
 速記擔任者

27 日

了るが、「トイフ」イタリヤ
 トハ同盟ヲ結ニテ、ソシカ
 ン我輩ニ入リテ、ソシカ
 カ、今國國民政府ノ考我ハ
 帝國トノ内ニ軍事同盟ヲ
 速記擔任者

30

隔靴搔痒ノ感ナキヲ得テ
 今後軍事同盟ヲ締結
 セルニ意固カランカトウカ
 事各節カ困難アリクニテ
 多心結構アリクニテカ、若シ

29

軍事同盟
 締結セテ、國民政府カ
 參戰シテ、隨テ大陸ニ於テ
 軍事上ノ提携リテ、其
 二付テハ、尚ホ其トシテハ

32

○青木國務大臣 軍事

同盟ハ締結ナシテ居リマセズ

カ、軍事上、政治上、經濟上、

各方面ノ協力ニ於テハ遺憾

ナク事態ノ要情ニ應ジ得

31

出席者 十人 欠 一人

思ヒマシ

24

敢テ實向申上テ又
 唯最後ニ言承クタイノハ
 政府ハ尚ホ所謂近衛聲
 明ナルヲ入連續シテ續行
 セルル意思カナルカトウカ

23

ル態勢ニテト考ヘマス、
 併シ軍事同盟ヲ結ブカ
 トウカト云フ下ハ私カ
 此答へ政ニ兼テマス
 ○中谷委員 此ノ旨ハ

36

會名

第 號

速記擔任者

ノ範圍ノ意入レマス力、一十
ソレニ依リテ……

東京院速記部

35

會名

第 號

速記擔任者

或ハ實際之上ヲ解消セシメ
ル意圖ガアルカトウカク、亦
同ニシテト思ヒマス

○青木國務大臣 近衛喜
明ト申シマスト、内容ハト

東京院速記部

會名

第 一 號

速記擔任者

近衛聲明ト云フ言葉カ使
 入レテ居リマス、~~其~~近衛聲明
 ト云フ常識的解釈ニ於ケ
 ル範圍ニアリマス
 ○青木國務大臣 一寸範圍

速記擔任者

會名

第 一 號

速記擔任者

○中山合委員 所謂近衛聲
 明ト一般ニ言ハレル程度ヲ
 アリマス、私ノ方カラ申シマス
 トハ範圍ヲ限定スルコトニナリ
 マスカ、~~（scribble）~~屢々

速記擔任者

于居ルノテハナイカト、私人思
 ツテ居ルノテアリマス、其ノ
 意味ニ於キマシテハ、勿論私共
 今日ニ於テ又、アノ基本條
 約ヲ尊重シテ、其ノ線ニ沿

ニ於テ又疑問が起リマシタ
 ナリハ、改メテ申シマスが所
 謂近衛聲明ト云フ其ノ
 根本ノ趣旨ハ、昭和十五年
 ノ日華基本條約ニ織込マレ

42

八帝國ノ八紘爲宇ノ根本ノ
 精神ニ触レテ豈モナリテ人
 ト共ニ之ニ便乘シテ一種ノ
 反我主義カ其ノ零團氣ノ裡
 ニ含マレテアルニテナラズヤ

速記擔任者

41

以テ進ニテ行ク考ハテアリテ
 ○中谷委員 近衛聲明
 カ作成セラレタ零團氣、ソ
 レカラ近衛聲明ノ基礎ヲ
 成ス思想ノ中ニハ一面ニ於テ

速記擔任者

此ノ點ハ逐次清算サシテ行ク
 必要ガアルト私ハ確信ヲシテ
 居リマスガ、是等ノ點ハ特ニ
 モウ少シ廣イ範圍テ、
~~審査會~~ニ於テモ差支ナイ程度

審査會

ト、考ヘラレル點モアルノテアリ
 マス、



審査會

二月十八日

北支 第 16 號

速記擔任者

菅内 小

終リマス

○手代木委員長 是ニテ秘密

會ヲ終了致シマス

午後零時三十九分 秘密會ヲ終ル

本議院速記

05 頁

會名

第 號

速記擔任者

テ質問スルコトニ致シマシテ

之ヲ保留致シマシテ本日ノ

私ノ質問疑ハ是テ終リマス

本議院速記

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 3307

Date 25 October 1947

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: Loose shorthand record, "Secret Meeting of the Committee for the Revised North China Development Company Law Bill," 81st Diet Session.

Date: 18 February 1943 Original Copy Language: Jap.

Has it been translated? Yes No

LOCATION OF ORIGINAL: Document Division

SOURCE OF ORIGINAL: Diet.

PERSONS IMPLICATED: AOKI, Kazuo

CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: China Affairs; Greater East Asia War.

SUMMARY OF RELEVANT POINTS:

Item 52: State Minister AOKI's explanation re the participation in war by the Chinese National Government.

"The main object of participation in war by the National Government lies in (1) clarifying the way of national policy as well as arousing the national spirit all over the country, and (2) making the Chungking Government seem like a traitor. To cope with this new situation, the Japanese Government has decided in the Imperial Conference the following measures to deal with the Chinese problems:

1. To strengthen the political power of the National Government as well as to destroy the center of anti-Japanese Chungking Government.
2. To terminate the China Incident before the offensive of U.S.A. and United Kingdom against Japan reaches its height.

"Then the Japanese Government made public the Joint Proclamation with the National Government regarding war and took various steps to strengthen her political power through her activities, such as the

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 3307

Date 25 October 1947

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: Loose shorthand record, "Secret Meeting of the Committee for the Revised North China Development Company Law Bill," 81st Diet Session.

Date: 18 February 1943 Original (X) Copy () Language: Jap.

Has it been translated? Yes () No (X)

LOCATION OF ORIGINAL: Document Division

SOURCE OF ORIGINAL: Diet.

PERSONS IMPLICATED: AOKI, Kazuo

CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: China Affairs; Greater East Asia War.

SUMMARY OF RELEVANT POINTS:

Item 52: State Minister AOKI's explanation re the participation in war by the Chinese National Government.

"The main object of participation in war by the National Government lies in (1) clarifying the way of national policy as well as arousing the national spirit all over the country, and (2) making the Chungking Government seem like a traitor. To cope with this new situation, the Japanese Government has decided in the Imperial Conference the following measures to deal with the Chinese problems:

1. To strengthen the political power of the National Government as well as to destroy the center of anti-Japanese Chungking Government.
2. To terminate the China Incident before the offensive of U.S.A. and United Kingdom against Japan reaches its height.

"Then the Japanese Government made public the Joint Proclamation with the National Government regarding war and took various steps to strengthen her political power through her activities, such as the

Doc. No. 3307, Page 2 (Summary cont'd.)

return of the concessions and extraterritoriality. From the economic point of view, Japan endeavors to develop industries and production in China on the basis of her abundant underground resources, agricultural production and labor power. As to the relation between the Imperial Way and "the Three Principles of the People", they are consistent in the matter of establishing a Greater East Asia."

Member TAKAOKA asked about the disposition of enemy property, and State Minister AOKI answered that the Government would deal with it from the viewpoint of carrying out the war and not from the Chinese viewpoint. Member NAKAYA asked about the ideology of the leaders of the National Government, and State Minister AOKI answered that there was no fear of their not cooperating with us.

Analyst: 1st Lt. Fred F. Suzukawa

Doc. No. 3307
Page 2.